

【普通科】 3年次 【選択】科目 「世界史研究」授業のシラバス

1 概要

教科名	地理歴史	科目名	世界史研究	単位数(コマ数)	2(70)
科目の目標	歴史的・地理的事象について関心と課題意識をもち、自ら意欲的に追求することを通じて、国際社会の一員としての自覚を深め、今までの世界史学習を通して、世界史の諸事象を元に考察し、更に理解を深める。				
教科書(出版社)	詳説世界史B新訂版(山川出版) 地歴高等地図 現代社会とその歴史的背景(帝国書院)	副教材(出版社)	最新世界史図説タペストリー 十六訂版(帝国書院) 五訂 必携世界史用語(実教出版) センター試験 世界史B単元別問題集〈第2版〉(駿台文庫)		

2 学習の方法

(1) 予習について

授業で取り扱う前後の範囲について教科書を読んでおいてください。複数回読んでおくことが望ましいです。範囲はすべて世界史Aでの既習事項なので理解しやすいはずですが。

(2) 授業について

教科書の範囲が終わるまでは世界史Bと同様の授業形態で行います。教科書が終わる次第、進路や理解度に応じて問題演習・ペアワーク・グループワークなどで課題の設定と追究を繰り返し行い、理解を深めます。

(3) 復習について

世界史は扱う単語量が5000語を越えるため、復習が必須です。授業で取り扱った内容について次のように復習してください。

- ① 授業範囲について教科書を読み、歴史の流れを確認する。
- ② 授業でわからなかった単語、興味がわいた単語について用語集等で調べ、ノートにまとめる。
- ③ 資料集を読み、関連する地図や図表を確認する。
- ④ 授業ノートを読み返し、理解度を確認する。

予習よりも復習に時間をかけること、授業があった日にすぐ復習すること、継続することが肝要です。

〈学習アドバイス〉

- ・「名前・国・時代・出来事」をしっかりと把握しましょう。どれか一つでも抜け落ちると、正確な理解につながりません。
例) ナポレオン1世・フランス・18世紀末から19世紀初頭・フランス皇帝となり欧州全域を支配するも戦争に敗れ没落した。
- ・「なぜ?」と思うクセをつけましょう。ただ単語を覚えるのが世界史ではありません。ある出来事の背景には必ず理由があります。それを追究する姿勢を養えば、世界史はもとより、学習活動全般に活かされる力が身につくでしょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
① 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	歴史的・地理的事象に興味を持ち、積極的に取り組むことができる。
② 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	史実と史実、地域と地域の関係性から世界史を総体として考え、自分なりの歴史観から現代社会を解釈し、表現することができる。
③ 資 料 活 用 の 技 能	世界の歴史の動きを地理的に把握することができる。
④ 知 識 ・ 理 解	各地域の特徴と歴史の流れ、地域間のつながりと世界の一体化への過程を理解し、知識を定着することができる。

(2) 評価の方法(以下観点①～④は「(1) 評価の観点」と対応する)

評価材料		定期考査・単元テスト		小テスト	ノート	ワーク	ワークシート
観 点	割合						
① 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題、ノート・ワーク提出、夏季・冬季休業中のレポートなど	○	○	○	○
② 思 考 ・ 判 断 ・ 表 現	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○
③ 資 料 活 用 の 技 能	25%	○	考査における論述問題、ワークシートでの作業など		○		○
④ 知 識 ・ 理 解	25%	○	教科書教材の知識等に関わる問題など				

〈担当者からのメッセージ〉

授業での疑問点や成績のこと、単位認定などの不明な点は、いつでも担当の教員に質問してください。それぞれの質問について個別に対応したいと考えています。1年間、一緒にがんばって勉強していきましょう。

【普通科】 3年次 【選択】 科目 「世界史研究」授業のシラバス

4 授業計画

月	単元	時数	学習内容	観点別評価	到達目標	考查等
前期 4	・二つの世界大戦	6	・第一次世界大戦、ロシア革命、国際連盟の成立、世界恐慌、第二次世界大戦の過程、展開、影響などを理解する。	② ③	・大戦が起こった背景や結果について考察し、大戦後の世界に与えた影響がどういったものかを説明することができる。 ・資料から二つの大戦の相違点を見だし、それを表現することができる。	前期中間考查
5		8				
6	・冷戦と第三世界の独立	8	・第二次世界大戦後、米・ソを中心とした冷戦体制が成立、アジア・アフリカ諸国が第三勢力として躍進、ドルニョック、オイルニョック以降の国際経済の再編、冷戦の終結への流れを理解する。	② ③	・冷戦期の世界各国の対立構造を理解し、それが現在の世界にどう影響を与えているかを説明することができる。 ・資料から軍拡の過程や経済へ与えた影響を理解し、その理由についてまとめることができる。	
7		8				
8	・現在の世界	4	・1990年代の情報技術革命とグローバル経済の進展、世界で多発する地域紛争紛争解決や軍縮の試みを理解する。	① ②	・世界各地の紛争地域や貧困地域の概要をまとめよりよい社会づくりへの関心を高めることができる。 ・グローバル化の進展とともに多様化する社会の太陽について考察し、変容していく社会に対してできることは何かを判断し表現することができる。	単元テスト
9		8				前期期末考查
後期 10	・テーマ別演習①（東アジア）	10	・東アジア史について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。	③ ④	・各地域に関する資料からテーマを設定し課題を追跡することができる。 ・問題演習を通じて各地域に関する理解を深めることができる。	後期中間考查
11	・テーマ別演習②（西・南・中央アジア、アフリカ）	10	・西・南・中央アジア・アフリカ史について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。			
12	・テーマ別演習③（文化）	6	・各時代の文化について課題を設定し、グループワーク等を通じて探求し理解を深める。			
1		2			↓	単元テスト
		70				

※ 観点別評価①は関心・意欲・態度、②は思考・判断・表現、③は資料活用の技能、④は知識・理解を表しています。

※ 授業計画は進度により前後することがあります。